

## 第8期第5回 多摩市介護保険運営協議会の資料に関するご意見・ご質問等について

先日、書面開催しました第8期第5回多摩市介護保険運営協議会に関し、委員の皆様からいただきました主なご意見、ご質問等について以下のとおり回答いたします。

### 資料2 第8期多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画<<令和3～5年度(2021～2023年度)>>進捗管理(令和3年度実績) について

※ページ番号の付番に誤りがあった(14ページと15ページの付番が抜けていた)ため、16ページ以下を以下のとおり読み替えてください。

- 16 ページ→14 ページ
- 17 ページ→15 ページ
- 18 ページ→16 ページ
- 19 ページ→17 ページ
- 20 ページ→18 ページ

#### 1 (4ページ)「Ⅲ多摩市の高齢者等の状況」の「2 要支援・要介護認定者数」について、認定者数の計画値の根拠を教えてください。

##### 【介護保険課認定給付係】

この表は第8期多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 123 ページの表からの抜粋です。第8期計画における要介護認定者の推計は、推計当時最新の人口推計を使用し、直近までの実績に基づき算出しています。なお、平成30年度、令和元年度の数字は実績数で、令和2年度も9月末までの実績数を基にしています(これらの年度の数値は、令和3年度実績には掲載していません。)

#### 2 (5ページ)「Ⅲ多摩市の高齢者等の状況」の「4 高齢化の推移」について、多摩市の高齢化率が国の高齢化率に比べて令和7年以降大幅に上昇する理由を教えてください。

##### 【介護保険課介護保険担当】

この資料は第8期多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に対する進捗状況を管理するための実績報告であるため、高齢化の推移を示す国・多摩市高齢化率は、計画書で用いたグラフをそのまま引用しています。国の高齢化率は、「日本の将来推計人口(平成29年1月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)の各年度10月1日(出生中位(死亡中位)推計)の数値を、市の高齢化率は、多摩市将来人口推計の数値を用いています。

多摩市の高齢化率が国に比べて令和7年以降上昇する理由として、多摩ニュータウン開発期(1970年代)に特定の世代(当時20～40歳代が中心)が入居したことで人口構成に偏りが生じ、その世代の高齢化により令和7年ごろから国平均に比べて大幅に高齢者が増加するという多摩市特有の事情があるものと分析しています(参考:多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2021年3月発行)など)。

3 (9 ページ)【介護予防に資する住民運営の通いの場】について、令和2年の実績が153団体であったのに対し、令和3年度は89団体となっています。この現象の要因について教えてください。

【高齢支援課介護予防推進係】

通いの場とは、地域介護予防教室・近所de元気アップトレーニング・サロン・自主グループ・老人クラブ等、住民が主体的に運営している集いの場を指しています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和3年度は、まん延防止措置や緊急事態宣言により、活動を休止した団体や、活動頻度を下げた団体等があったため、週1回以上開催した団体数は89団体に減少しました。

4 (11 ページ)【地域包括支援センター】の項目について

令和3年度の認知度の目標が45%になっています。その根拠としては、資料7「多摩市高齢者実態調査報告書令和2年度版(抜粋)」106ページの間9の「知っている」(45.2%)を根拠としているか。あるいは別調査か。

また、資料7の間9は、100%の合計になっているが、「利用・参加したことがある」「知っている」の回答をあわせると56.3%となっている。利用したかどうかは別として、認知度は56.3%と推計できるか。

目標値をどのように設定したか。また、年間5%認知度を上げることは、人数としてどのように想定し、戦略を立てているか。

【高齢支援課地域ケア推進係】

・令和3年度の認知度の目標設定を45%に設定したのは、「多摩市市政世論調査」をベースにしています。令和元年度は認知度が36.2%となっており、毎年2%程度認知度が上がっていることを考慮し、目標値を少し高めに設定したものです。

・認知度の中に実際に利用している層が含まれていると想定されることから、認知度は56.3%を若干下回るものと考えられます。

・「多摩市市政世論調査」は18歳以上3,000人を対象に、2年に1度実施しており、回収率は毎回53~55%前後となっています。調査自体が必ずしも高齢者のみを対象としていないため、数値自体が実際の状況と一致しない部分もありますが、信頼度の高い根拠資料として、今後もこの調査をベースに経年比較を行って高齢者の実態把握に努め、高齢者施策に反映させていく方針です。

5 (16 ページ 訂正後14 ページ)【市町村特別給付の利用件数】

令和2年度の目標が「4,160件」となっているが、実績と大きくかけ離れた理由はなにか。

【介護保険課認定給付係】

第7期策定時では、今後の高齢化の進行により対象者も増えることを予想していましたが、通所の送迎のため、利用が同時時間帯に重なってしまうことから、利用者数に大きな変化はありませんでした。

## 6 (17 ページ ※訂正後 15 ページ) 居宅サービスについて

「訪問看護」において、計画より実績が上回っている理由をどのように分析しているか。医療的ケアが必要な方が在宅に多くいる、増えたということか。

【介護保険課認定給付係】

居宅サービスでは、訪問看護と居宅療養管理指導が計画値を上回っています。訪問診療などの充実により、医療的ニーズの高い方の在宅での生活が増えているものと考えられます。

## 資料4 第9期計画策定における実態調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）設問概要と多摩市追加設問（案）について

1 「問3 食べることについて」のうち、「問3（6）①噛み合わせは良いですか」、「問3（6）②毎日入れ歯の手入れをしていますか」という設問は削除されたのでしょうか。

【高齢支援課高齢支援係】

今回の調査では、前回の「噛み合わせに関する項目」「入れ歯の手入れに関する項目」は削除しました。新型コロナに関連した項目やデジタルデバイス対策についての設問を新規で加えており、全体的に設問数が多くなってしまったため、回答率をなるべくあげるためにも、内容を精査し、今回の内容とさせていただきました。

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の「問3 食べることについて」又は「問7 健康について」の質問項目に「この1年間に歯科医院に通ったこと、あるいは歯科医に診てもらったことはありますか?」「かかりつけ歯科はありますか?」の項目を追加することは難しいでしょうか?

【高齢支援課高齢支援係】

かかりつけ医（内科や歯科等）は、ご自身の健康面を管理するために必要なことと認識しております。2年に1度すでに実施している多摩市市政世論調査でもかかりつけ歯科についての設問がございます。また、現在、庁内で策定を検討している歯科に関する条例を作成する際の調査の設問の候補に上がっております。そのため、今回の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の項目には含めませんでした。ご意見ありがとうございました。

3 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の市独自項目に追加検討をお願いします。

- ・多摩市に住んで何年になりますか
- ・引き続き多摩市に住みたいです
- ・お年は何歳ですか あと何年生きてみたいです
- ・終の棲家はどこに決めていますか
- ・多摩市には公園が多くありますがいくつの公園があるか知っていますか
- ・今までに行ったことがある公園はいくつありますか
- ・公園にあるトイレを利用したことはありますか
- ・多摩市では公営事業として江戸川区で公営競技を開催しています。その競技の名前を知っていますか。

・多摩市は戦争しない平和都市を目指しております。次の（ ）の中にあてはまる  
字句を入れてください。

（ ）のない平和な（ ）をつくる都市

【高齢支援課高齢支援係】

ご提案いただきました設問項目につきましては、2年に1度実施している多摩市市政世論調査等に設問があるものもあります。

今回の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、高齢者への施策を検討する計画改定となりますので、施策につながるものに重点を置き、設問を検討させていただきました。さらに、設問が多すぎると回答率が下がってしまうことが懸念されます。そのため、今回の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の項目には含めませんでした。ご意見ありがとうございました。

4 問 4-14 趣味の有無（オプション項目）、問 4-17 生きがいの有無（オプション項目）の  
回答は、スポーツ（野球、ラグビー、サッカー、スポーツ観戦等）、登山、旅行、映画、  
読書、買い物、カジノなどの具体的な選択肢としてはどうか。

【高齢支援課高齢支援係】

どちらの設問も「有」の場合は、具体的に記載する欄を設けております。趣味等は多方面に渡り想定されますので、例示は記載せずご自身で思いつくものを自由に記載していただくことにしております。

5 問 7-14 「フレイルという言葉を知っているか」（市独自項目）について、前回調査時  
（令和2年度）は、「知らない」と回答した人が53.1%だったようです（資料7、p.105  
より）。TAMAフレイル予防プロジェクト（TFPP）に期待しています。多摩市市営フレイル  
会館をつくる、事業を一体化して新たな通いの場をつくり介護予防事業を推進する、会  
館には映画館、プール、銭湯（家族風呂）、イベントホール、カフェ、バイキング、カジ  
ノ全ての要望に応えるフレイル会館は、多摩のシンボルタワーであり、人々の交流の場、  
生涯学習の場です。みんなが笑顔いのちにぎわう多摩です。

【高齢支援課介護予防推進係】

ご意見ありがとうございます。市ではTAMAフレイル予防プロジェクト（TFPP）に参加することをきっかけに、介護予防に取り組む高齢者を増やしていきたいと考え、「フレイルという言葉を知っていますか」という設問を今回も入れています。調査結果の経年推移を見ながら、介護予防・フレイル予防の普及啓発を推進し、高齢者が生きがいをもって生活できる地域の実現を目指しています。